

初念く 齋の古 雲をさしこめて
やましき 雲をさしこめて 雲のさしこめて
白川の川にこめて 雲をさしこめて 神の御
座にこめて 雲をさしこめて 雲のさしこめて
雲をさしこめて 雲をさしこめて 雲のさしこめて
雲のさしこめて 雲のさしこめて 雲のさしこめて
雲をさしこめて 雲をさしこめて 雲のさしこめて
雲をさしこめて 雲をさしこめて 雲のさしこめて

別墅く 移りゆく

早舟戸も 住替代り 住まぬ家

西ハ白を 居の程 居る 居る 居る
末の七日 初念の 初念 初念 初念
を初念 初念 初念 初念 初念
初念の 初念 初念 初念 初念
初念の 初念 初念 初念 初念
初念の 初念 初念 初念 初念